

令和6年度すまいる職員対象 放課後等デイサービス自己評価表アンケート集計結果

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			・強度行動障害児の対応など環境調整が出来ている。
	②	職員の配置数は適切であるか	7			・より細かい支援のために手厚くしたい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7			
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			・職員が広く参加する為に、ミーティングに支援計画検討会議を加えたり、日々業務改善の努力に当たっている。 ・毎週のミーティングで、支援計画案を全員で検討し作成。支援についての振り返りも行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			・保護者のご意見は大変参考になり、身を引き締めて業務にあたっている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			・廊下、HP、保護者LINEにて。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	4	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			・内部研修、外部研修ともに多くの機会がある。 ・積極的に研修に参加している。勤務日以外（土曜日）の研修に参加する事もある。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			・課題の整理表も加え、検討会議、書面協議、ミーティングの他、全員でよりの確な支援計画を作成。 ・支援計画作成と共に、アセスメントを見直している。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			・すまいる独自のアセスメント用紙を用いている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			・保育士を中心にミーティングにて立案
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			・新しいもの、良いものを常に意識、提案しあっている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			・特に長期、祝日は食事の支援も入れ、生活での身辺自立の向上を支援計画に基づいて、行っている。 ・休日、長期休みは、普段できない社会体験を計画し、取り組んでいる。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			・お子さんの特性に加え、その日のコンディションも鑑みる必要がある。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			・出発前ミーティングと題し、時間を割いて支援の打ち合わせをしている。 ・各学校へのお迎えの前に出発前ミーティングを必ず当日の全支援者で、行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			・日誌当番があり、全員への聞き取りと、振り返りの時間を設けている。時間がかかってしまうのが課題。 ・日誌の記録担当者を中心に振り返りを、毎日している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			・⑯の通り。加えて、痼癢や他害、問題行動、強度行動障害児の支援記録も行き、改善に繋げている。 ・当番制で、日誌を記録。必ず全職員目を通して、情報共有している。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑱ 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			・相談員と連携を取りながら、定期的に行っている。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	7			・放デイを運営するため、どれも欠かさず、必ず基本活動を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			・該当児童の課題面を語る事が出来る児発管及び支援の主となる保育士が参加している。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			・適宜行っている他、学校のお迎え時に担任の先生との情報共有を密にしている。 ・必ず引き渡し時に、担任から当日の様子を申し送りしてもらっている。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			・新規利用時に必ず詳細な情報を引き継いで、受け入れ後も支援について伺う機会がよくある。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			・支援会議にてお伝えする他、卒業の注意点や課題面を、相談員に情報提供している。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			・研修に参加させて頂いている。年3～4回ほど。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		6	1	・地域での公園活動時など。 ・公園等で、地域のお子さんに関わる事がある。
	㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	7			・年10回ほど、南部地域のグループワークに参加。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			・お迎え時に必ずご様子をお伝えし、必要であれば相談も受けている。 ・お子さんの様子をLINEにてお伝えしています。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7			・個人面談時にお伝えさせて頂いている他、適宜相談に対し、対応をお伝えしている。 ・児発管が行っている。
保護者への説明責任等	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			・きめ細かく行っている。
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			・㉘、㉙の通り
	㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7			・年1回、趣向を凝らして行っている。 ・毎年保護者会を開催している。
	㉝ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			・法人内に苦情解決体制が整っており、第三者委員も設けている他、現場でも迅速に対応している
	㉞ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			・すまいるNEWSを配布、HPIにもUPしている。毎月のプログラムを視覚理解できるよう、配布している。 ・不定期で「すまいるニュース」を発行している。
	㉟ 個人情報に十分注意しているか	7			・十分注意し、機密漏洩の防止に努めている。重要書類には鍵をかけて保管。
	㊱ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			・iPadでのドロップス、ペクス、LINEなどを利用

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	2	・コロナ禍によりコロニー祭が出来ていない状況
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			・プログラムにて2ヶ月に1回、1週間行っている。お子さんに緊急時の対応を伝えている。 ・定期的にプログラム活動で、地震、火事、浸水を想定した避難訓練を行っている。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			・虐待防権利擁護の為、理解は不可欠。研修多く行っている
	④1	このような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			・身体拘束の可能性について、どのような場面で、いつまで行うのか支援計画に記載し、保護者と共有している。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			・必要に応じ保護者よりコピーを頂いている。
④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			・ちょっとした出来事も見逃さず、ヒヤリハットとして扱い、情報共有を行っている。	

有効回答数 7 / 7